

岐阜県の プラスチック

昭和54年6月6日発行

特集・晴れの工組創立10周年記念式 第31号



団結と発展を誓う

当工業組合はさる5月28日、岐阜市内の岐阜グランドホテルに上松岐阜県知事ら関係官庁、団体、業界の代表を多数招いて『工業組合創立10周年記念式典』を盛大に行ない、岐阜県プラスチック業界の団結と発展を誓い合った。

岐阜県プラスチック工業組合会報

『業界の振興発展願う』

盛大に10周年記念式典を開く

上松県知事ら来賓がお祝いの言葉

岐阜県プラスチック工業組合の『創立10周年記念式典』は『54年度通常総会』のあと来賓および関係者約150人が集って開いた。式典は、まず、大松理事長の開会あいさつではじまり、続いて名古屋通産局長代理の田中商工部長と上松岐阜県知事が来賓を代表して祝辞を述べた。このあと組合功労者知事表彰、



上松県知事がかけつけ、創立10周年のお祝いの言葉をのべた

永年勤続者表彰、10周年協賛各社に対する感謝状贈呈が行なわれ、最後は12階展望の間へ席を移して花やかに『創立記念懇親パーティー』を開き、式典をしめくくった。

理事長は活動強化の決意表明

記念式典で大松理事長が述べた開会あいさつの内容は「工組が創立10周年を迎えたことは組合員一同の歴史的喜びで、これは諸官庁のご指導、原材料、機械、金型メーカー各位のご協力があって今日の隆盛を見ました」と、席上に招いた関係者に感謝したあと「これを機会に工業組合の組織充実と一層の活動強化をお約束したい」と新たな決意を表明した。

来賓として招いた田中名古屋通産局商工部長は「わが国経済は全般としてはかなりの明るさが見られるが、原油の大幅値上がり、為替相場の不安定、物価問題、雇用問題など数多くの問題点を抱えています。プラスチック業界としては、この事態をよく認識し、秩序ある業界の発展に邁進してほしい」と激励した。

上松知事は三次総に協力要請

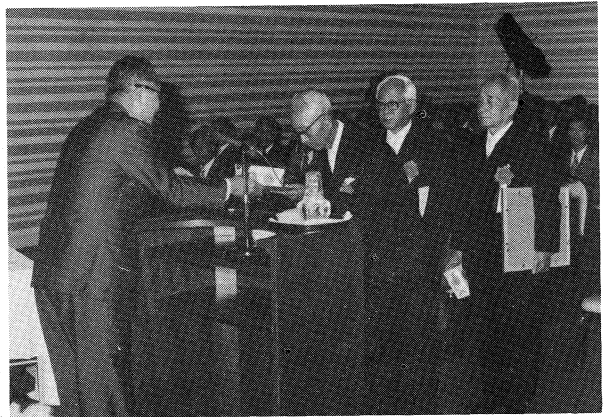
また、来賓の上松岐阜県知事は「プラスチック業界は幾多の試練を乗り越え、岐阜県の六大産業の一つに成長を遂げたが、これは組合の皆様方が相互扶助の精神を大いに発揮され、積極的な事業活動を展開してきた結果ともいえます。

いま岐阜県は、昭和60年をめざして三次総と取り組んでおりますが、その一つの柱である安全で豊かな県土づくりは、業界の皆さん方にも大いに協力を得なければなりません。どうか組合の使命と責務を改めてご認識賜り、業界の振興発展に活躍してほしい」とあいさつした。

協賛56社に感謝状贈呈

来賓祝辞に続いて行なわれたのは、まず副理事長の大野繁俊氏と田中弘一氏、理事の真鍋義雄氏の3人が組合功労者として知事表彰を受けた。受賞者を代表して大野繁俊氏は「こんごも業界発展のために微力ながら尽します」とお礼の言葉を述べた。

このあと組合員企業に永年勤続した26人の表彰（被表彰者名は4頁に掲載）と10周年協賛56社に対して感謝状を贈呈した。協賛会社を代表し、三菱油化名古屋支店長の高屋博氏は「メーカー各社も今後一層のご愛顧を賜り、余恵に預ると共に、組合員各位のご繁栄をお祈りします」と述べた。



組合功労者として大野、田中、真鍋三氏が知事表彰



協賛各社を代表して高屋三菱油化名古屋支店長があいさつ



記念式典後は展望の間に席を移し、花やかに創立記念懇親パーティーを開いた

記念式典前に総会開く 理事長以下役員は再選

当工組は創立10周年記念式典に先だって『54年度通常総会』と『岐阜県プラスチックデザイン協会54年度通常総会』を開いた。

工組関係の議案は54年度事業報告書・収支決算報告書、任期満了にともなう役員の改選、賦課金について定款の一部改正、54年度事業計画、収支予算書な

どの審議で、この結果、役員改選は全員再選、議案は原案どおり可決した。

組合員の永年勤続者を表彰

【永年勤続者表彰】 △20年勤続表彰＝高田光江（関ヶ原プラスチック工業）藤井利忠（厚見プラスチック工業）

△10年勤続表彰＝前川一彦（前川美術工芸）狩野文彦（同）野尻義次（関ヶ原プラスチック工業）西村順造（同）吉田良三（同）蟻川喜一



記念式典の席上で表彰を受けた組合員企業に永年勤続した人々

（同）齊藤ミスエ（厚見プラスチック工業）中島友吉（岐栄プラスチック協同組合）三島雅章（松波合成樹脂工業所）古田明一（天竜工業）渡辺英雄（岐研ポリマー）篠田紘（同）岩井重雄（同）

△5年勤続表彰＝垣本ちづ子（前川美術工芸）羽土浪子（同）荒井さよ子（同）井亦一夫（同）黒田美明（同）井俣孝子（同）入山妙子（松波合成樹脂工業所）山田清子（関化成工業）安田いね子（同）古田一子（同）桜木啓子（同）

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバドゥール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (千100)

新役員全員は新たな気持で努力

通常総会に提出された工業組合関係4議案のうち重要なことは、任期満了にともない役員が改選されたことと組合員の賦課金が改正されたこと。

役員は全員再選で、役員名は理事長に大松幸栄氏(岐阜プラスチック工業)副理事長は大野繁俊氏(東海ポリエチ工業所)田中弘一氏(田中化学工業所)武藤昭三氏(武藤合成)の3人。理事は納土栄一郎氏(東和化成)奥村勝氏(天竜工業)真鍋義雄氏(厚見プラスチック工業)日比正隆氏(大垣プラスチック工業)篠田哲氏

(岐阜技研ポリマー)吉田博司氏(美濃化学工業)の6人。監事は杉山日出雄氏(パール化成)林光夫氏(関化成工業)の2人。

賦課金改正で健全財政の維持を

また、賦課金の一部改正は、一般管理費の支出を組合員賦課金でまかない、健全財政を維持し、組合活動を一層拡大させようとするもの。新賦課金はすでに組合員各位に配布した総会資料16ページに掲載したとおりです。

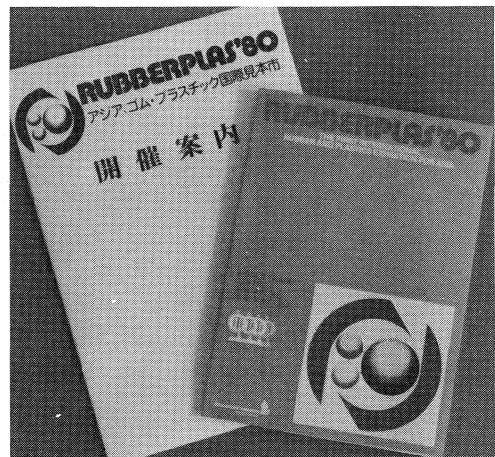
なお、プラスチックデザイン協会の議案は「昭和53年度事業計画、決算報告」「同54年度事業計画、収支予算」で、原案どおり可決した。



『アジア、ゴム・プラスチック国際見本市』(略称ラバープラス)が55年5月にシンガポールで開催企画されている。

主催は本社英国のI・T・Fで、会期は5月26日から30日までの5日間。開催場所はシンガポールの世界貿易センター3号館。会場規模は約5,000平方メートルで、日本ブースは約900平方メートルが予定される。日本側の出品物は合成ゴム、プラスチック原料、これに関連する原料、副資材、ゴム、プラスチック成型品、ゴム・プラスチック成型加工機械、付属機器および金型となっている。

見本市が開催されるシンガポールはアセアン5カ国の中心的存在に位置し、その政治的、経済的リーダーシップと共にアジアの工業国として発展はめざましい。ゴムについては、マレーシア、インドネシアと共にその資源国として歴史は古く、プラスチック工業も日本、欧米のメ



ーカーの進出と共に日本の技術が高く評価されている。

また、7年前に完成したシンガポール住友化学の30万トンエチレンプラントは、東南アジアに高分子工業の大きな発展を約束することだろう。この国際見本市は各国が参加するが、日本は日本ブースを作り、広く技術をPRすることになる。

当工業組合としては、組合事業として見本市見学を検討していますので、ご意見を寄せて下さい。(写真はラバープラス開催案内書)

◎熱硬化樹脂は4-6%の伸び◎

合成樹脂工業協会は、熱硬化性樹脂の54年生産予測をまとめた。

それによると54年前半は、前年比10%近い伸びが見込まれるものの後半には国内経済の停滞が予想されるため、4.4%の伸びにとどまっている。とくに前年25%増と伸びたメラミン樹脂や、14%伸びた不飽和ポリエステル樹脂、10%伸びたフタル酸樹脂でも54年は4-6%の伸び率を見込むほど手堅くみており、全般的に控えめな予測となっているのが特徴である。

◎東北大が耐熱性プラ磁石開発◎

希土類コバルト系の高性能プラスチック磁石の研究開発が世界各国で展開されているが、東北大学金属材料研究所は、特殊無機材料研究所、三菱製鋼と共同で、ボロン系ポリマーをボンド材とし、最高使用温度180度Cという耐熱性プラスチック磁石の開発に世界初めて成功した。

プラスチック磁石は加工性、再生産性、重量軽減性とみ、とりわけ省エネルギー関連の新たな高性能磁石と目されているが、それを実現するには耐熱性の向上が大きな課題であった。今回の開発は、耐熱性に優れ、磁石の不可逆減少率が小さいプラスチック磁石だけに関連業界の注目を浴びている。

◎ナフサ高騰で化学業界大波乱◎

石油化学の粗原料であるナフサ(粗製ガソリン)価格が急上昇しており、エチレンセンター各社の間に原料高をどこまで製品価格に転嫁できるか、先行きを危ぶむ空気が広がってきた。

海外のナフサ市況の高騰を背景に輸入ナフサはここ2-3カ月上げ足を早め、6月の平均価

格は1キロリットル当たり4万円と、昨年夏の2倍の水準にまではね上がり、さらに上昇を続けそう。

一方、国産ナフサも4-5月分について石油精製側から値上げを迫られている。各社は4月からエチレンの価格を月きざみで上げるなど、製品価格への転嫁にやっきだが、矢継ぎ早の値上げ攻勢に需要家側の抵抗も強まっており、石油化学業界は波乱含みの様相を強めている。

◎世界最大の化学工業展開◎

西ドイツのフランクフルトで、世界最大の化学工業展『ACHEMA79』が開かれ、話題になっている。開かれたのはさる6月17日から1週間で、会場は21ホール、16万平米、屋外展示場も1万平米で、晴海会場の2倍余。

目は最も優秀なカメラである 雑学事典

目は最も優秀なカメラである。どんなE・Eカメラでも、この網膜ほどすぐれた感光膜は持ち得ない。人間の目の網膜の薄板にはりめぐらされている視覚に関係のある受光器は1億3,700万個。そこから脳へ行く神経繊維の数は少しずつ凝縮されて100万そこそこになるが、この部分自体1個の脳として作動する。

光によって画像が一瞬にして作られると、時を移さず、脳の適切な部分に映像を伝達する。映像は二次元のものだが、これを解釈して三次元を加えるのは脳の働きで、この仕組みはいまだによくわかっていない。

感光細胞には「錐体」と「桿体」の2種類あり、明るい所で見るのは錐体。夕方、暗くなってから物を見るのは桿体で、これが働かなくなると夜盲症になる。



技能検定 実技は7月17日から実施

技能検定協会と当工業組合の主催で実施する『54年度技能検定』の受験者は2級技能士ばかり15人と決った。昨年度に比べると1級受験者がなく、2級受験者は2人多い。

検定試験は7月17日から20日までの4日間、岐阜県工業技術センターの高分子加工実験室で実施される。この検定に先だって7月10・11日の2日間、同技術センターで『技術検定講習会』が行なわれる。

実技の検定は射出成形機2台を使用、1台に



1人ずつ個別に行なわれ、7月23日には検定委員ら関係者全員が集って総合採点する。この実技検定に続いて9月9

日、岐阜県人材開発センターで学科試験が行なわれる。(写真は技能検定ポスター)

今夏、流葉にプラ製スキー場

吉城郡神岡町の町営流葉スキー場にプラスチック製の人工スキー場『プラノースキー場』が誕生する。オールシーズン滑れるプラスチックスキー場は、郡上の母袋スキー場に続いて2番目となるが、今夏オープンを前に早くもスキーヤーの関心が高まっている。

プラノースキー場は、神岡町が4カ年事業で計画する自然休養村の目玉施設。規模は流葉スキー場第2ゲレンデ西側の約1ヘクタールで、夏場はプラスチックの人工ゲレンデ(長さ450米、幅150米、最大斜度15度)でスキーが楽しめ、冬場は雪のゲレンデとして活用する。

食品衛生法の一部改正を告示

厚生省は、さる5月28日『食品、添加物等の規格基準の一部改正』について告示した。食品向けプラスチック製器具および容器包装材料の規制を強化するもので、55年5月28日から適用される。(詳細は次号に掲載)



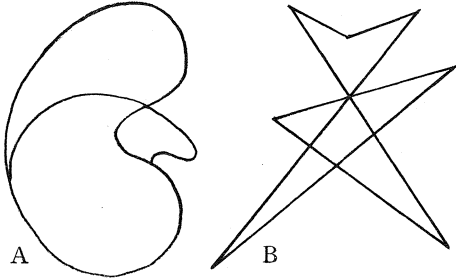
秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071

デザインコーナー

岐阜県プラスチックデザイン協会

製品らしさのために



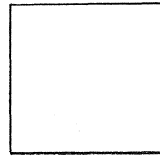
上図はA・Bのうち、どちらをTake(タケ)と呼びどちらをMa(マル)と呼ぶか、選びなさい、といわれたならば(この二つの語句はいずれも意味のない言葉である)容易に右側をTakeと呼ぶに違いない。

これは有名はゲシュタルト心理学による、ものみえかたの普遍性を実験したもので、多くの場合、その形状から受ける連想的価値はすべての人にとって同じものを意味し、それを巧みに利用することによって製品らしさをより強調することができることを意味している。

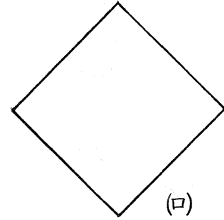
だからこそ、製品デザイナーは時代によって変化する「らしさ」を追求し、よりコップらしいコップ、道具らしい道具、等を企業のために

考え、消費者に提供していかなければならない。

「らしさ」のために、デザインの立場から形の視覚的修正を行なう場合、錯覚現象を利用し造形イメージを視覚的に生かすことが多くある。パルテノン神殿の柱のエンタシス(ふくらみ)は、より直線的に見せるための曲線であり、テレビ枠の細いのは、画面をより大きく見せ、表面をより平面的な感じにするには、わずかな凹曲面にする。又、これらの解決方法を用いた工業製品は、非常に多く見出すことができる。

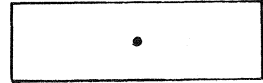
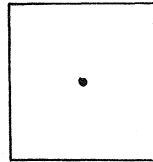


(イ)

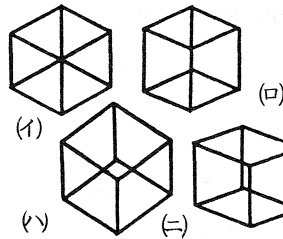


(ロ)

(イ)より(ロ)の方が大きく感じる。



中央にある点が、中央より下に感じる。



(イ)

(ロ)

(ハ)

(ニ)

左右対称図形は、平面的であり、(ニ)は立体感を強調。

TOSHIBA

東芝機械株式会社

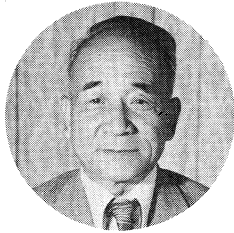
本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

プラスチックと私

田中 弘



私がプラスチックに手を出したのは昭和16年。川崎航空(当時)の研究室に勤務していたとき、飛行機の風防ガラスの加工および接着の研究をやったからである。研究内容はアクリライトで出来ている風防ガラスの切削、曲げなどの加工から接着剤の製造まで手がけた。研究といっても、すでに生産ラインは流れているので、実際に軽爆や戦闘機に活用しながらの研究であった。

戦争が激しくなると軍隊にとられ、接着剤やプラスチックの加工研究は、しばらくブランクとなった。戦後22年に復員してからは、1、2年ゴム会社の役員として勤めた。しかし、戦時中に川崎で研究していた接着剤のことが忘れられず、個人的な副業として接着剤の研究と取り組んだ。昭和24年に入ると、その研究成果が実り、独立して接着剤の生産に着手した。

商品化した接着剤の名は万能接着剤『P-A』で、生産のかたわら一般に市販した。P-Aは一般接着用、塩化ビニールや硝子用、メタアクリル酸メチルエステル板工作用の3種類あって、当時、商品に付けた使用説明書がいまも残っている。私が開発した接着剤は、熱可塑性の粘着する合成樹脂と溶剤で構成、溶剤の揮散と同時に合成樹脂は適度に硬化するようにしているから、そのころあったセルロイド系の接着剤のように材料の下塗などのめんどろな工程がい

らず、簡単に接着できることが特色だった。

27年ごろからは販路も軌道に乗り、量産に入った。同時に接着剤の応用研究も進み、このとき生まれたアイデアはプラスチックと織物を結び付けることであった。いろいろ試作を行なった結果、織物とモルトプレレン(スポンジ)を接着した暖房着用の生地で、その年に名古屋の松坂屋で開かれたプラスチック展に商品見本を出品した。

この新製品は、現在市販されているキルティングなどの草分けになるもの。展示会は私自身が出かけ、訪ずれたお客さんに接着剤の特色を説明、宣伝販売した。いまでいうなら実演販売で、私の口上があまりにも堂に入っていることから、他の売り場で接着剤(セメダイン)を売っていた促販専門家が「売れなくなるからやめてくれ…」と頼みにきたエピソードもあった。

私が開発した接着剤は性能もよく、かなり売れたが、悲しいかな小資本では商品の生産にも限度があり、大がかりな商談には応ずることができなかった。一方、日本経済の回復と同時に大手資本が接着剤需要に目をつけ、量産工場が各地に建設された。これでは、当時、私がつくった接着剤がいくらよくても、立ち行かず、接着剤の生産販売をあきらめねばならなかった。

自慢話になるが、開発した接着剤の性能がよく、一時期の私は、全国的な接着剤の権威者として知られた。個人企業の域を出なかった私の接着剤工場があのまま伸びていたなら…と思うと残念でならない。しかし、この破綻がきっかけとなり、それまで不可能とされていたナイロン再生利用法を開発、いまも生業として、いやむしろ資源不足の時代に直面し価値を高めていることから、破綻は決して無駄でなかった。

(次回はナイロン再生についての詳細)



□無事に記念式典終る□

当工組の『創立10周年記念式典』は、さる5月28日、岐阜グランドホテルで開きました。計画された諸行事が、滞りなく、無事に実施することができました。事務局一同厚く御礼申し上げます。

とくに創立10周年記念事業が当初予想した以上に花や

かに、盛大に催すことができましたことは、協賛56社の協力によるところが甚大であります。どうか組合員の方々からも、協賛各社に対してお礼を申し述べていただければ幸いです。

なお、記念式典および総会については、この会報31号に特集いたしました。これら一連の行事についてご意見がありましたらご一報下さい。

□A I Vの労働災害総合保健を取扱中□

当工組事務局はA I U保険の代理店として、労働災害総合保険を取り扱っています。これは企業の安定と従業員の暮らしを守るキメ手にもなることですから、ご利用下さい。この労働災害総合保険を希望される方は、事務局へご一報下されば、説明資料を持ってうかがいます。

また、近くプラスチック加工工場の火災と危険についての講習会を開催計画していますので、

いずれご案内いたします。すでに組合事務局へ到着しているパンフレットの中には、A I Uがまとめたプラスチック工場の各種事故例集もあります。入用の方は連絡下さい。

□一括購入セールの希望車種を募集□

県内自動車ディーラーと提携した『県プラ自動車ローン』は、好調な事業実績を重ねております。こんども制度を利用される企業や従業員の方は、ディーラーの営業マンと話し合う前に事務局へご相談下さい。前回、マツダ車の一括購入セールを開催しましたが、ほかに車種、メーカーの希望があればお知らせ下さい。

岐阜県のプラスチック

1979 31号

昭和54年6月5日印刷

昭和54年6月6日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館内)

電話(0582) 72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

編集 岐阜市大黒町3丁目5番地

電話(0582) 47-7231

中部パブリシティセンター

出光

の石油化学製品

◎取扱品目

ポリスチレン

高压ポリエチレン

中低压ポリエチレン

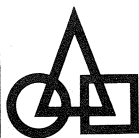
ポリプロピレン

ABS樹脂

不飽和ポリエステル

カルブ®

ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名典ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611



あ明し日た葉ぼ

今日切り取っても明日は再生しているとの意から、明日葉と呼ばれる。セリ科の大形多年草。わが国暖地の海浜に生じ、葉は大形の羽状複葉、ウドに似て光沢があり、淡緑色。非常に強壯で発育が速い。葉と茎は食用となる。

純国産無公害エネルギー“天然ガス”を原料に求め、モノマーからポリマーまでのメタクリル一貫生産メーカーとして、世界の五指に数えられる協和ガス化学工業。用途に合わせた高品質素材を安定供給するため“天然ガス”を大切に使っていきたい。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス[®]

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット[®]



協和ガス化学工業株式会社

本社 / 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル ☎(03)277-3174
 大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
 福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(0222)66-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト[®]

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット[®]

ABS樹脂

ダイヤペット[®] **ABS**

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231



ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)

信越P.V.C.

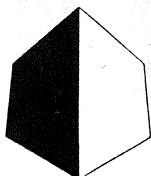
塩ビは信越……と評価されている理由

●信越化学は系列の日信化学と合わせ、量・質ともにトップメーカーです。

原料から一貫生産を行ない、常に新タイプの開発にとりくんでいます。応用面の研究も充実しています。

●グループの一翼である信越ポリマーを通じて需要家のニーズを品質に生かします。

●工場の1つに、130M³の大型重合器を備えコンピューター操作による最新鋭工場を有しています。



Shinetsu

信越化学

本社 東京都千代田区大手町2-6-1 電話(03)242-1211(大代表)
名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)
電話代表 581-6511

日精はお応えします。

コストダウン・品質の向上・省資源の成形に…

コストダウン・品質の向上・省資源がますます要求される今日。より高度な技術力、柔軟な開発姿勢で対処していかなければなりません。日精は豊かな技術力と実績とによって、モルダーのあらゆるご要望にお応えしています。付加価値の高い成形は、日精の成形機こそが、お役に立つことをお約束します。

NISSEI
P

1 歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場 長野県坂城町 ☎(02688)2-3000(大代) 〒389-06 名古屋営業所 ☎(052)732-0261(代)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(茜ビル) ☎(0582)72-5952

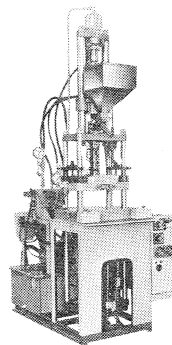
さんじょうの 射出成形機!!

精密工業部品、インサート成形に特に適した機械と定評を頂いております。

射出量 5グラム (1/6オンス) より600グラム(20オンス)までの各機種を製作いたしておりますので、用途に合わせてご利用下さい。

— 営業品目 —

- 熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂、ゴム用射出成形機
- ロストワックス用ワックス成形機、ワックス溶融装置、保温装置
- 液状原料用射出成形機、注入機、混合脱泡機
- セラミック用射出成形機
- 当社射出成形機用金型
- その他関連装置



●カタログご希望の方は紙名ご記入の上お申込み下さい。
——成形機・金型・関連装置を社内一貫生産している専門メーカー——

株式会社 山城精機製作所

本社	東京都板橋区弥生町 32 番地	TEL(03) 972-0561(代)
業務部・工場	埼玉県川口市中青木 2 丁目 1 8-2 1	TEL(0482) 51-6156(代)
名古屋営業所	名古屋市北区楠町味鋸政所 2 8 番地	TEL(052) 901-5861 番
大阪営業所	TEL(06) 443-3771(代)	八王子出張所 TEL(0426) 51-7144 番
九州営業所	TEL(092) 571-2740 番	小倉出張所 TEL(093) 471-1079 番
前橋営業所	TEL(0272) 52-0733 番	城南出張所 TEL(03) 776-2254 番
広島出張所	TEL(0822) 32-2785 番	沼津出張所 TEL(0559) 22-9610 番



リスのプラスチック



今、新しい
テーブルウェアの
たび だち
出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、
その名にふさわしいテーブルウェア
として、リスの一貫したデザインポリ
シーから生まれたメタクリル樹脂の最
高級品です。

リス
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本 社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支 店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮